

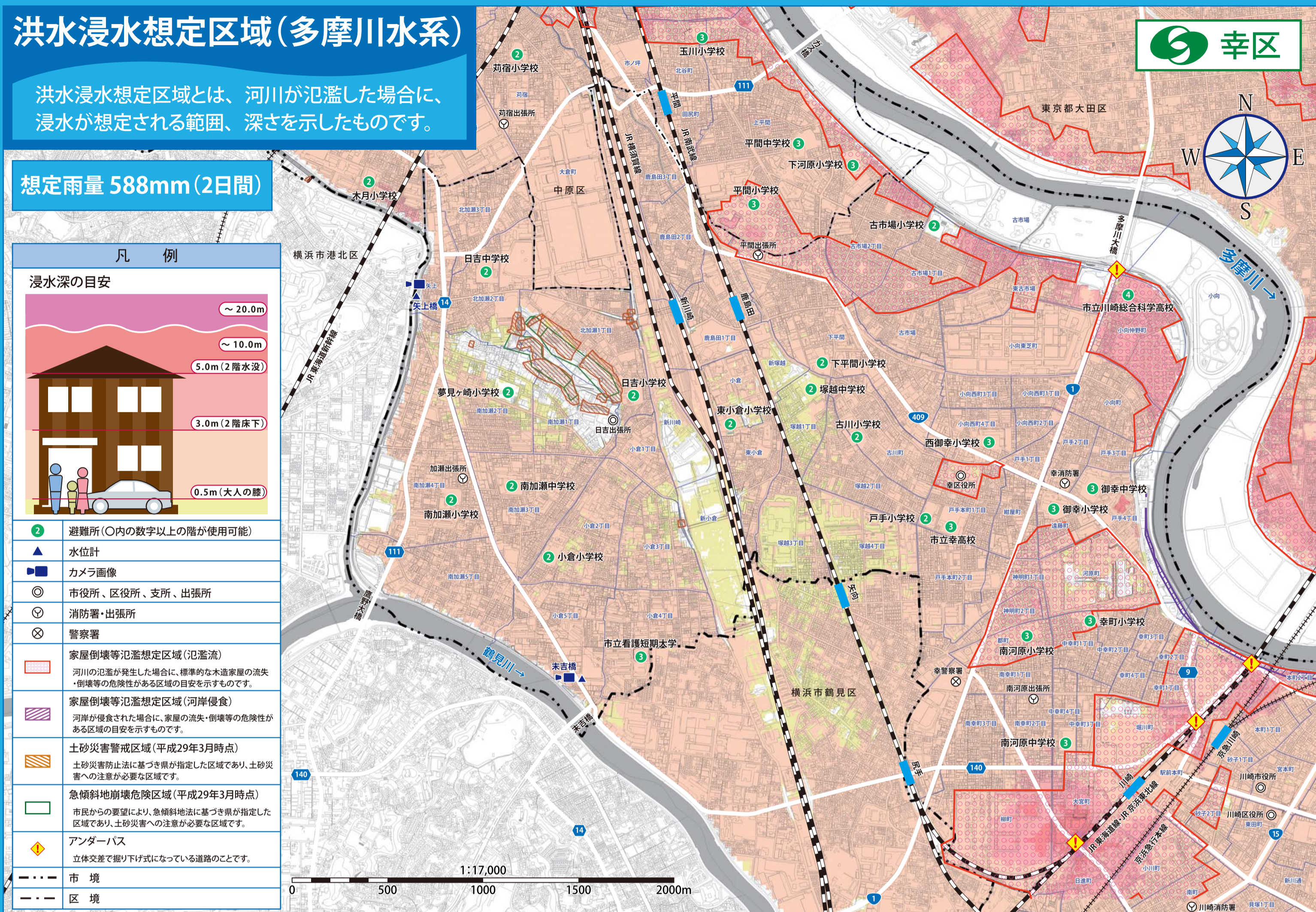
# 洪水浸水想定区域(多摩川水系)

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲、深さを示したものです。

想定雨量 588mm(2日間)



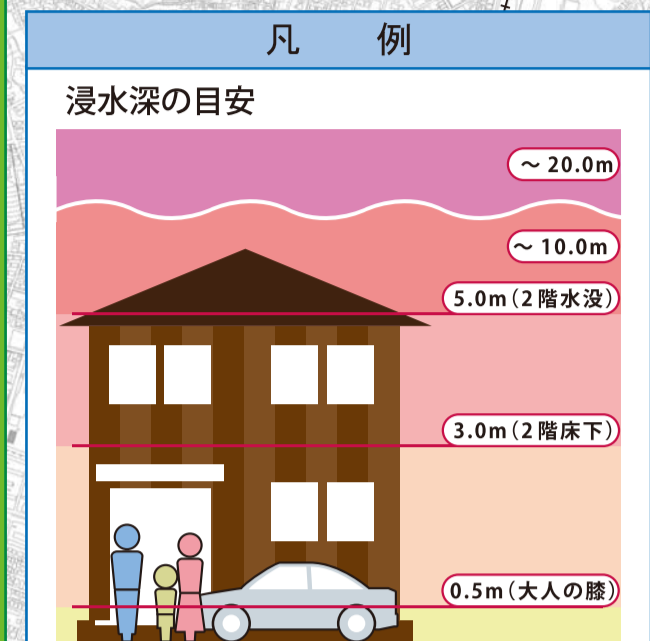
- 避難所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 水位計
- カメラ画像
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署、出張所
- 警察署
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)  
河川の氾濫が発生した場合に、建物のなみ水かさの流失、倒壊等の危険がある区域の目安を示すものです。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)  
河川が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険がある区域の目安を示すものです。
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)  
土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 急傾斜地崩壊危険区域(平成29年3月時点)  
市民からの要望により、急傾斜地法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- アンダーパス  
立体交差で覆り下げ式になっている道路のことで、



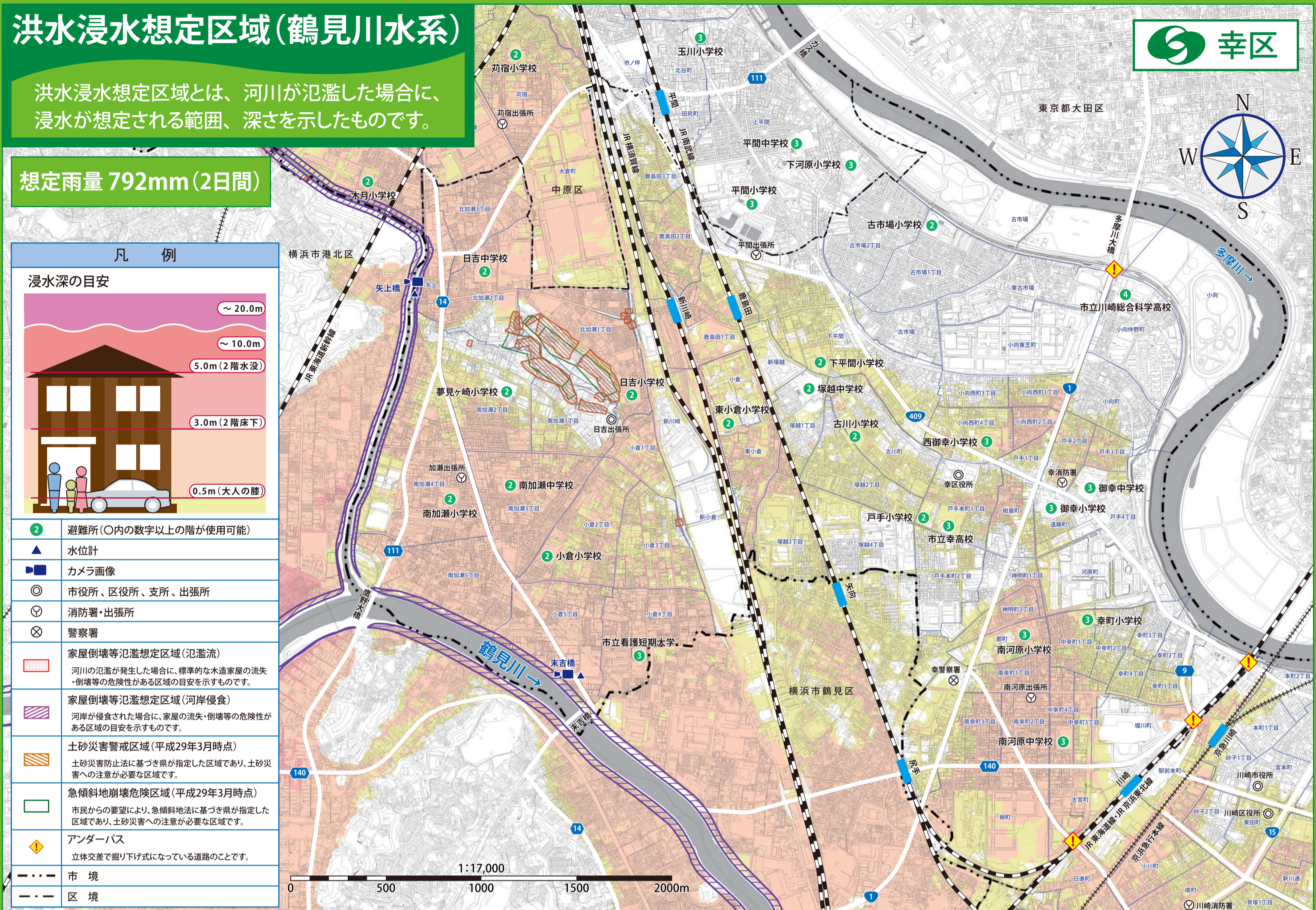
# 洪水浸水想定区域(鶴見川水系)

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲、深さを示したものです。

想定雨量 792mm(2日間)



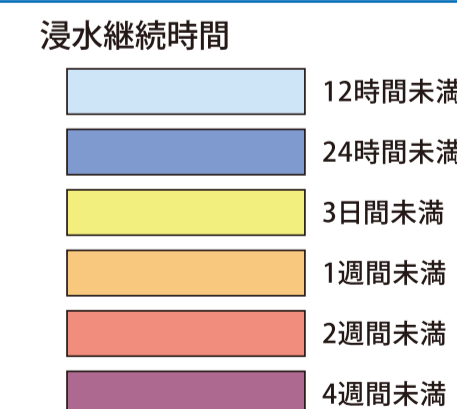
- 避難所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 水位計
- カメラ画像
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署、出張所
- 警察署
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)  
河川の氾濫が発生した場合に、建物のなみ水かさの流失、倒壊等の危険がある区域の目安を示すものです。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)  
河川が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険がある区域の目安を示すものです。
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)  
土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 急傾斜地崩壊危険区域(平成29年3月時点)  
市民からの要望により、急傾斜地法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- アンダーパス  
立体交差で覆り下げ式になっている道路のことで、



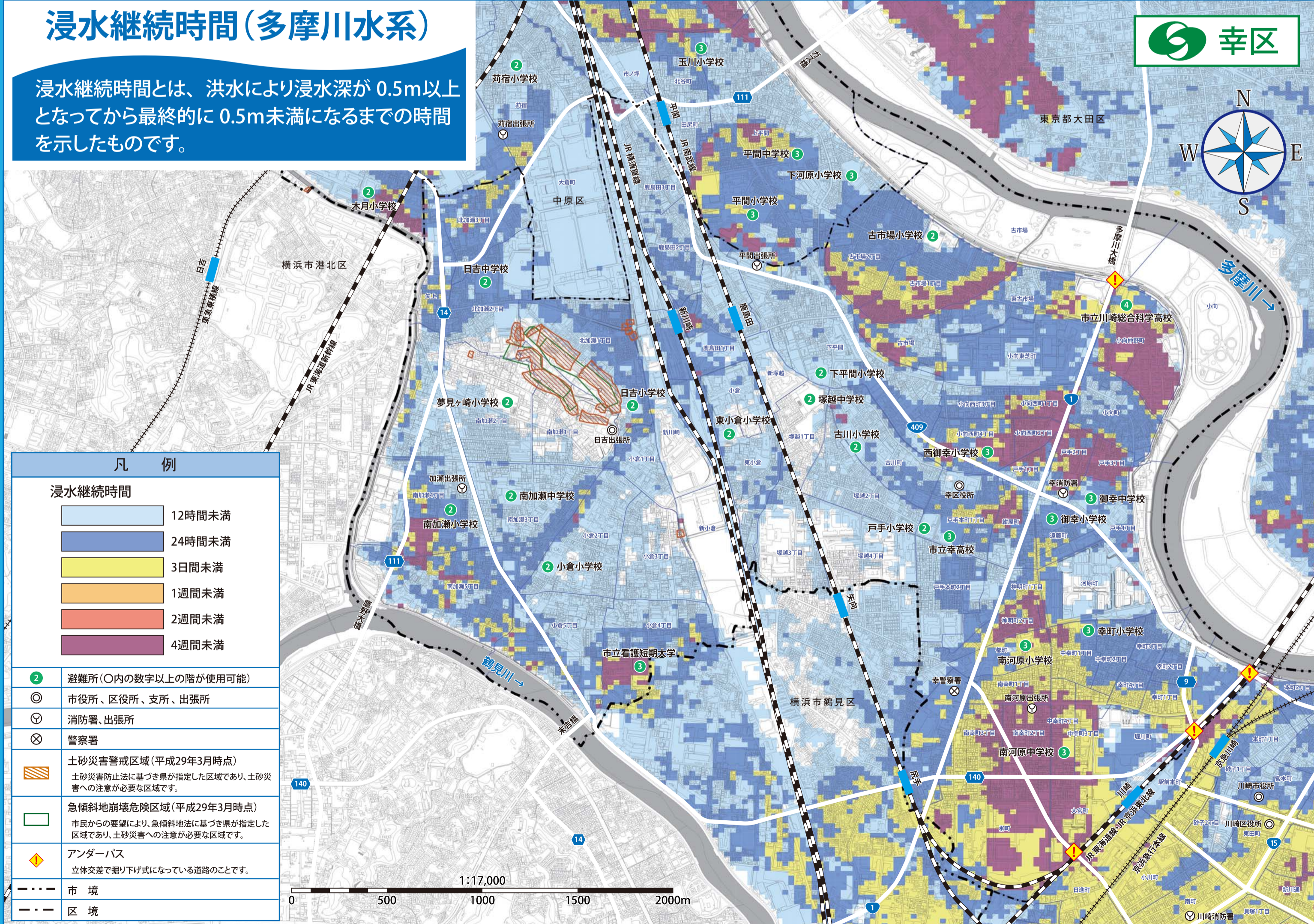
# 浸水継続時間(多摩川水系)

浸水継続時間とは、洪水により浸水深が0.5m以上となつてから最終的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。

## 凡例



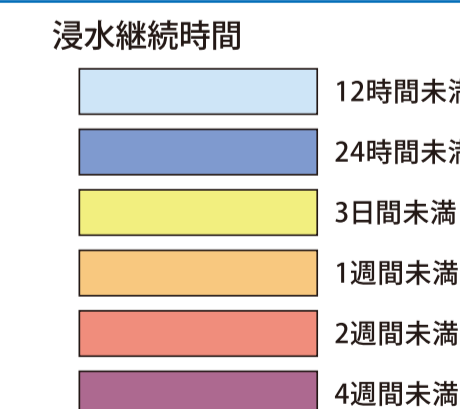
- 避難所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署、出張所
- 警察署
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)  
土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 急傾斜地崩壊危険区域(平成29年3月時点)  
市民からの要望により、急傾斜地法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- アンダーパス  
立体交差で覆り下げ式になっている道路のことで、



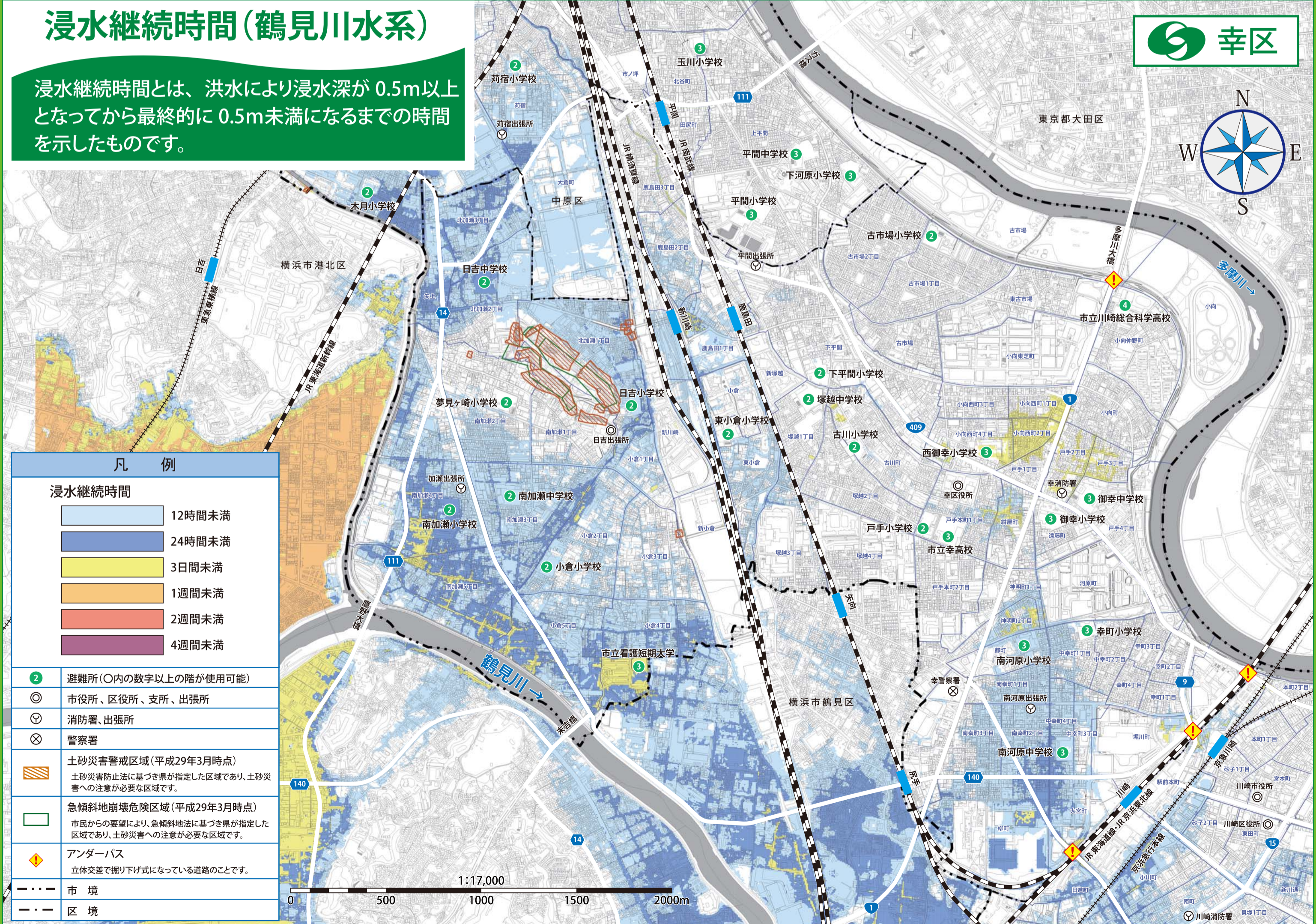
# 浸水継続時間(鶴見川水系)

浸水継続時間とは、洪水により浸水深が0.5m以上となつてから最終的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。

## 凡例



- 避難所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署、出張所
- 警察署
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)  
土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 急傾斜地崩壊危険区域(平成29年3月時点)  
市民からの要望により、急傾斜地法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
- アンダーパス  
立体交差で覆り下げ式になっている道路のことで、



●この図面の作成には、国土院の承認を得て、関係機関の基礎地図情報を使用し、(承認番号 平29第 第112号) ●川崎市の承認を得て関係機関の都市計画基本図を使用し、(承認番号 川崎市指 第100号)